

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	郡山市立希望ヶ丘学園		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月25日		～ 令和6年 12月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	71	(回答者数) 48
○従業者評価実施期間	令和6年 11月25日		～ 令和6年 12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門職(作業療法士・言語聴覚士)を配置している。	・専門職のアドバイスのもと、遊具等の効果的な使い方、児童の発達課題に応じた支援の仕方、保護者への関わり方等を工夫しながら取り組んでいる。 ・こどもの支援に関する会議等に専門職が積極的に参加したり、支援に関する研修の機会を設けたりしている。	・専門職の療育技術が保育士の日常の療育に活かされるように、研修の効果を高めていく。
2	・公認心理士、音楽療法講師等の外部講師が定期的に来所し、専門的な内容のスキルアップを行っている。	・外部講師の指導を踏まえて、フィードバックを必ず実施し、支援の効果が高まるように努めている。	・学園の取組の様子について、保護者へ説明はもちろんのこと、他の事業所や園・学校に対しても共有すべき内容については連携を図る。
3	・療育としての施設が充実しており、活動内容によって使い分けができる。	・児童の特性や実態に応じて、部屋の活動内容を使い分けている。 (スヌーズレン、静養室、遊戯室(オーシャンスイング、大型滑り台、エアートランポリン等の遊具)、安心して遊べる中庭)	・施設や遊具等の利用の目的をさらに意識した療育指導の充実を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用日、利用時間にばらつきがあり、短時間の利用では療育の効果が表れにくいところがある。	・幼稚園、保育所等の施設に通っている児童が多いことで、利用時間が短くなる児童が多いものと思われる。	・利用者の必要に応じて、複数回利用の検討を行う。
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		郡山市立希望ヶ丘学園					
		公表日 令和7年 3月21日					
		利用児童数	令和6年 12月12日 回収数 48				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	46	2	0	0	・お遊戯室、園庭で身体が動かせることがよい。 ・クールダウンのスペースがあり過ごしやすと思う。 ・スペースは確保されている。	・各部屋の定員や面積は、厚生労働省の定める基準を満たしたものとなっております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	45	2	0	1	・適切であり、子ども達に細かく対応していたらと思う。	・常勤の児童指導員や保育士、児童発達支援管理責任者のほか、作業療法士などを厚生労働省の定める基準に基づき配置しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	46	1	0	1	・構造化されていて視覚支援により何をやるのか、どこに行くのかが分かる。 ・できることで安心して過ごしている。絵カード等で分かりやすくなっている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	43	2	0	3	・心地よく過ごせる空間になっています。 ・清潔で心地よく安心して預けている。 ・トイレなども清潔である。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	45	2	0	1	・先生方が無理なく一緒に取り組んでくれるので、最後まで頑張る成長を感じる。 ・安心している。 ・専門性のある支援を感じる。 ・保護者のニーズを聞いて、成長に合った支援を考えてくださる。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	39	2	0	7	・支援内容と合っていると思う。 ・先生方から子どもの成長の話を楽しみながら聞く。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	6	8	14	・面談等でいろいろとお話させて頂き、個別支援計画を作成していただいている。 ・職員の方々が情報を共有してくれているので、客観的に分析されて作成されている。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	45	2	0	1	・設定されていると思う。	・児童発達支援ガイドラインに基づいて、提供すべき支援について生活全般における支援ニーズとそれに基づいた総合的な支援方針等を把握した上で、本人支援、移行支援、家族支援等を設定しております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	46	2	0	0	・行われている。 ・子どもが分かる、できる、安心して過ごせるよう支援して頂いている。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	41	2	0	5	・いろいろなゲームや製作等、初めての事に挑戦でき工夫して頂いている。 ・季節のイベントや日々の活動でも固定化されないように工夫されている。	・個々の児童にあわせ、生活リズムを大切に、日常生活動作の習得や、子どもが見通しを持って自発的に活動できるよう促されることを基本に、活動内容やその組合せについては固定化しないよう工夫しております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	47	1	0	0	・目に見えて、他の子どもとの交流はなかった。 ・お散歩先の公園や遠足などで他のお父さんと会う機会があったと思う。	・近隣の幼児施設との交流について、活動の設定について検討して参ります。
保護者 への 説明	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	47	0	0	1	・通園前のオリエンテーションで丁寧に説明があった。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	47	1	0	0	・詳しく丁寧に説明して頂いている。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	5	2	11	・講習会がとてめめになった。 ・保護者交流会、親子通園支援で行って頂いて勉強になっている。 ・日々のフィードバックで情報提供されている。なかなか参加できないので参加したい。	・発達障がいや療育について学ぶ機会として学園主催の療育講習会への参加を保護者に促しており、さらなる機会の提供に努めて参ります。 ・研修の機会として、ペアレントトレーニングの実施を検討して参ります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	46	1	0	1	・強くそう思う。 ・引き渡し時に、子どもの様子を話していたので安心。 ・連絡帳、フィードバック、健康状態は登園時に共通理解できている。 ・細かくノートに記載がある。	・子どもの将来の姿を見通しながら、子どもの成長やよさを保護者の方々と共有し、喜びを分かち合うことを今後も大切にしていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	47	1	0	0	・面談、フィードバックなどで困りごとへの助言を頂いている。	
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35	4	0	9	・強く思う。 ・そのときの状況を考慮し受け入れ、親身に支援してくださっている。		

明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	45	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流会で、兄弟も参加できたらいいと思いました。 ・保護者交流会で家族の支援がなされている。 ・父親も参加できるのが助かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流会は、できるだけ保護者同士の密度の高い話し合いをしてほしいという意図があるため、他のご兄弟の参加をご遠慮させて頂いておりますことをご理解いただければ幸いです。また、兄弟の預かり保育ができないか、今後検討させていただきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	43	1	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・何かある時、相談できる事は話して頂いている。 ・様々な形で説明してくださり、迅速かつ適切に対応してもらっている。 ・急な場合も適切に対応頂いている。 ・周知されているが、まだその機会はありません。 	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	44	1	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・強くそう思う。 ・子どもには段階を踏んで意思疎通を図って頂いている。 ・連絡帳で活動の様子、対応を教えてください。 	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	46	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・マズコミやお便りでお知らせ頂いている。 ・写真つきだとうれしいです。 	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	41	1	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・十分注意して頂いていると思う。 	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	46	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル等が策定されており、ファイルを見せて頂いたことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談の機会等を通してマニュアルの周知がなされるよう、より丁寧にご説明するように努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	42	5	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練が行われていて、地震の時どう行動するかを理解しているようだ。 	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	46	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に活動ができるように子ども達に事前のお話、お約束があり、安全の確保の上で支援して頂いている。 	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・そのような時、速やかな連絡をいただいたことがあり、説明があった。 	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 施設、先生方、お友達、支援にとても安心感を持って通所している。 	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが通所をとて楽しみにしている。 ・子どもは先生方、お友達が大好きです。 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・欲を言えば、もう少し長い時間過ごせると嬉しい。 ・子どもが楽しく過ごすことができ、成長が見られる事に感謝している。 ・先生方が相談に的確に答えて教えて頂いている。 ・とても満足している。 ・本当に通ってよかった。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		郡山市立希望ヶ丘学園		公表日		令和7年 3月21日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		11	3
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		9	4	・その日により、職員の配置を変えたりして工夫している。	・お子さんの特性や相性等によっては、個別の関わりをしたいが、人数によって難しい時がある。 ・支援度の高いクラスでは支援者の人数が不足している。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		13	1	・発達段階や特性に合わせたクラス編成・環境になっていると思う。	・玄関のバリアフリーがされていない。 ・収納が少なく、子どもに見せる必要がないものも露出しているのは環境的な課題。 ・子どもの動線を考慮し、改善できるところはあと思う。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		13	1	・登園前、登園後に清掃、消毒を行っている。	・玩具の消毒が不十分なので、使用後の消毒を実施したい。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		12	2	・個別ブースやスヌーズレン等個別に対応している。 ・仕切りやクールダウンスペースを必要時にしようしている。	・静養室が使いにくい状況である。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		10	4	・毎月1回、支援員会議を行い、振り返りと改善案を出し合い行っている。 ・カイゼン活動により実施している。	・PDCAサイクルの理解が不十分であるため、改善の計画や実行に向けて職員が参画できる取り組みに改善していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		13	1	・評価を集計し公開している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		9	4	・支援員会議や日ごとの振り返りにて改善につなげている。	・機会はあるが、発言しにくい。 ・改善につながっている実感が無い。 ・相談しても業務改善に至らないことがある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9	5		・第三者の外部評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		13	1	・学園内の研修に参加したり、受講する機会をできるだけ確保している。 ・その都度、研修案内が周知されている。	・機会はあるが、療育時間中は、療育の人数確保のために研修に参加できないことが多い。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		7	7		・個に合わせたプログラムが少なく、他のクラスのものを用いている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。		12	2	・保護者の意向を聞いたり、面談を行い取り入れたりしている。	・アセスメントが不十分である。 ・子どもの人数が多く、支援計画の作成が負担になっている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		10	4	・職員間の共通理解のもと作成している。	・共通理解には至っていない。 ・特定の職員の意見で支援計画が作成される傾向にある。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		12	2	・発達段階ごとにクラス分けをして、個々の計画に沿った支援を行っている。	・計画は回覧されているが、全児童分の理解は不十分である。 ・その日その日の対応になってしまっている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		12	2		・日々の振り返りは行っているが、標準化されたツールを用いたアセスメントができていない。 ・共通理解が乏しい。 ・ツールの変更が何度もあった。 ・フォーマルなものの導入を検討したほうがよい。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	4		・立案する時間が十分にとれない。 ・プログラム立案していない。 ・時間が少なく、全員揃っての会議ができないときがある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	3	・玩具や遊具の入れ替えを定期的に行っている。	・活動プログラムがマンネリ化している。 ・工夫があるとよい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	1		・個別プログラムの実施が少ない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	2		・打ち合わせや準備が不十分である。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	1		・行っているが、次の日に活かされないこともある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	2	・日ごとの記録、ケース記録に入れて共有している。	・ケース記録に個人差がある。そのため、支援に活かされていない。 ・記録内容の量など、統一した方が良いと思う。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	2		・モニタリングは行っているが、適切な見直しは不明である。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0	・保護者からの意向があれば、併用している保育園などに支援計画を渡している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	2		・書類の提出のみが多く、相互理解までは不十分である。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	12	2		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	14	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	14	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	13		・地域との交流は行われていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	2		・ペアレントトレーニングは実施していない。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	3		・きょうだい児の支援は未実施。 ・保護者だけでなく、きょうだいや祖父母なども参加できる場があると良い。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	0	・マチコミにて情報配信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	13		・施設公開日を設定しているが、実施していない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	0		・マニュアルの策定はされており、訓練は今後実施。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	1		・研修や訓練は不十分である。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	1		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	3			